

色鮮やかなドレスなどを身にまとった出演者ら＝川崎市多摩区



便利な服で おしゃれを

川崎 横浜



地域ワイド

川崎でユニバーサル
ファッションショー

車いす利用者ら出演

報道部
☎045(227)0140
コミュニケーション局
☎045(227)0080
川崎総局
☎044(222)4455

体が不自由でも年を取っても、誰もが着やすい服でおしゃれを楽しんでもらおうという「ユニバーサルファッションショー」が16日、川崎市多摩区の同区総合庁舎で開かれた。車いす利用者や高齢者ら約40人が「モデル」となり、色鮮やかなドレスなどを着用して出演。華やかな雰囲気包まれた。(山下 徹)

「ユニバーサルファッション」は、誰にとっても着やすくおしゃれで、自立した生活を維持しやすい便利な服などのこと。ショーはボランティアグループ「系の詩」(栗田佐穂子代表)が企画し、今回で13回目。

ショーでは、指が不自由な人でも楽に留められるよう、マグネットボタンが付いたアロハシャツや、車いすに座ったままでも着脱しやすいウエディングドレス

など、約40点を紹介。モデルたちはポーズを取るなどし、会場は大いに盛り上がった。

栗田代表は、「出演してくれたモデルたちの笑顔をみて感動した。障害者や高齢者でもこうした方法でおしゃれができるということを、今後も広めていきたい」と話していた。

車いす利用者で、同市高津区の大学4年生、煙石晴加さん(21)はピンク色のドレスを着て出演。「これまでは着たくても勇気がなく、踏みだせなかった。華やかでドレスを着られて本当にうれしかった」と笑顔で話していた。